

井伊家を救った情けの武将

# 新野左馬助親矩

SAMANOSUKE  
X  
NAOTORA

大河ドラマ「おんな城主直虎」  
応援プロジェクト

平成29年1月から、大河ドラマ「おんな城主直虎」の放送が決定しました。このドラマは、戦国時代、後に大老井伊直弼を輩出する井伊家を滅亡の危機から守り抜いた女性の物語。主人公「直虎」は、私たちの暮らすまちにとってゆかりのある人物であることをご存じですか。今回は、直虎と御前崎市にまつわる物語に迫ってみたいと思います。

西暦	和暦	歴史事項	参考
1536	天文5年	今川義元が家督を継ぐ。	
1539	天文8年頃	今川氏と井伊氏が和睦する。今川一族新野左馬助、目付家老として井伊家に付属し、新野左馬助の妹祐椿尼が井伊直盛の正室となる。	
1544	天文13年	井伊直満、直義、今川氏に誅殺される。直満の子である龜之丞(のちの直親)、信州市田郷松源寺(現在の長野県高森町)へ逃れる。	井伊家伝記
1555	弘治元年	龜之丞、井伊谷(現在の浜松市北区引佐町の辺り)へ帰り直盛の養子となって直親と名乗る。	井伊家伝記

御前崎市とのゆかりとは

大河ドラマの主人公となる「井伊直虎」とのゆかりは、新野地区にあります。

時代は戦国時代までさかのぼり、遠州城東郡新野村(現在の新野地区)三千石の地頭に「新野左馬助親矩(以下新野左馬助)」という武将がいました。この新野左馬助は今川氏の一族で、新野地区にあった舟ヶ谷城を居城とし、井伊家一族の奥山因幡守の妹を妻にして

いました。まずは、ここが一つの接点、御前崎市と井伊家のつながりだったと考えられます。

直虎の伯父「新野左馬助」

二つ目の接点となるのが血筋です。直虎の父親は井伊直盛、母親は新野左馬助の実の妹祐椿尼でした。

新野左馬助にとって、直虎は姪にあたり、2人は大変濃い血縁関係にあったことが分かります。(家系図参照)

直虎をめぐる新野家・井伊家の家系図

